

5 就業時間

(1) 就業時間別就業者数

- 平均週間就業時間は 42.0 時間で前回の調査から 0.9 時間減少 -

平成 17 年の 15 歳以上就業者（697,009 人）のうち、週の実業時間が 35 時間未満の短時間就業者は 150,910 人（15 歳以上就業者の 21.7%）で、35 時間以上の就業者は 532,715 人（同 76.4%）となっており、就業者 1 人当たりの平均週間就業時間は 42.0 時間となっています。前回の調査と比べると、35 時間未満の就業者の割合は 1.4 ポイント（前回 20.3%）上昇し、35 時間以上の就業者の割合は 1.7 ポイント（前回 78.1%）低下しています。平均週間就業時間は前回から 0.9 時間（前回 42.9 時間）減少しています。

男女別に就業時間別割合をみると、男女とも「40～48 時間」（男性 45.5%、女性 35.8%）が最も高くなっています。男性は次いで「49～59 時間」（20.6%）、「60 時間以上」（17.1%）と続いており、女性は次いで「15～34 時間」（28.3%）、「1～14 時間」（11.2%）と続いています。前回の調査と比べると、35 時間未満の割合は男女ともに上昇（男性 0.9 ポイント上昇、女性 1.0 ポイント上昇）し、35 時間以上の割合は男女ともに低下（男性 1.1 ポイント低下、女性 1.4 ポイント低下）しています。また、就業者 1 人当たりの平均週間就業時間は、男性が 46.6 時間、女性が 34.5 時間となり、男性が女性を 12.1 時間上回っており、男女ともに前回の調査から 0.7 時間減少しています。（表 23）

表 23 就業時間、男女別 15 歳以上就業者数及び平均週間就業時間(H17)

男 女	総数 1)	35時間未満			35時間以上					平均週間 就業時間 (時間)	
		総数	1～14 時間	15～34 時間	総数	35～39 時間	40～48 時間	49～59 時間	60時間 以上		
就業者											
平成17年											
総	数	697 009	150 910	42 475	108 435	532 715	43 760	291 613	111 136	86 206	42.0
男		431 921	46 427	12 890	33 537	378 186	18 887	196 637	88 829	73 833	46.6
女		265 088	104 483	29 585	74 898	154 529	24 873	94 976	22 307	12 373	34.5
平成12年											
総	数	649 403	131 825	33 277	98 548	507 228	46 387	255 002	114 909	90 930	42.9
男		411 632	40 479	9 967	30 512	365 220	21 594	173 159	92 090	78 377	47.3
女		237 771	91 346	23 310	68 036	142 008	24 793	81 843	22 819	12 553	35.2
増加率(%)、増加数(時間)											
総	数	7.3	14.5	27.6	10.0	5.0	5.7	14.4	3.3	5.2	0.9
男		4.9	14.7	29.3	9.9	3.6	12.5	13.6	3.5	5.8	0.7
女		11.5	14.4	26.9	10.1	8.8	0.3	16.0	2.2	1.4	0.7
割合(%)											
平成17年											
総	数	100.0	21.7	6.1	15.6	76.4	6.3	41.8	15.9	12.4	-
男		100.0	10.7	3.0	7.8	87.6	4.4	45.5	20.6	17.1	-
女		100.0	39.4	11.2	28.3	58.3	9.4	35.8	8.4	4.7	-
平成12年											
総	数	100.0	20.3	5.1	15.2	78.1	7.1	39.3	17.7	14.0	-
男		100.0	9.8	2.4	7.4	88.7	5.2	42.1	22.4	19.0	-
女		100.0	38.4	9.8	28.6	59.7	10.4	34.4	9.6	5.3	-
前回との差(ポイント)											
総	数	-	1.4	1.0	0.4	1.7	0.8	2.5	1.8	1.6	-
男		-	0.9	0.6	0.4	1.1	0.8	3.4	1.8	1.9	-
女		-	1.0	1.4	0.3	1.4	1.0	1.4	1.2	0.6	-

1) 休業者及び就業時間「不詳」を含む。

(2) 年齢、就業時間別就業者

- 男性の「35～39歳」の平均週間就業時間は50時間超 -

年齢5歳階級別に就業時間別割合をみると、「15～19歳」と「65歳以上」では「15～34時間」（それぞれ37.7%、30.0%）が最も高い割合となっており、両者を除く全ての年齢階層では「40～48時間」が最も高い割合を示しています。また、「15～19歳」では35時間未満の割合（70.5%）が7割以上を占めていますが、「65歳以上」では35時間以上の割合（48.8%）が35時間未満の割合（45.6%）を上回っています。その他、25～39歳の各年齢階層では35時間以上の割合が8割以上を、40～59歳の各年齢階層では7割以上を占めています。

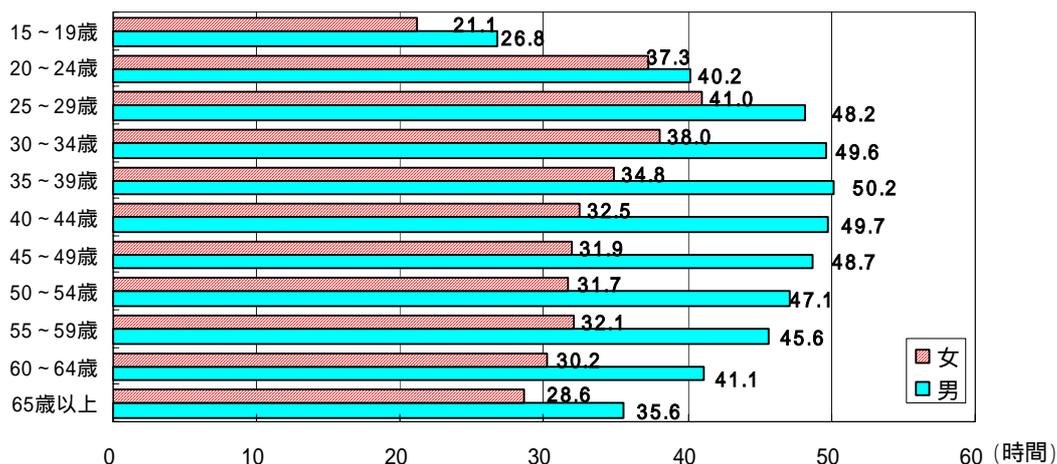
平均週間就業時間は、「30～34歳」（45.5時間）が最も長く、次いで「25～29歳」（45.3時間）、「35～39歳」（45.1時間）となり、この20～39歳の各年齢階層で45時間を超えています。男女別にみると、男性は「35～39歳」（50.2時間）が50時間を超えて最も長く、次いで「40～44歳」（49.7時間）、「30～34歳」（49.6時間）と続き、25～59歳の各年齢階層で45時間を超え、20～64歳の年齢階層で40時間を超えています。女性は「25～29歳」（41.0時間）が40時間を超えて最も長く、次いで「30～34歳」（38.0時間）、「20～24歳」（37.3時間）と続き、20～64歳の各年齢階層で30時間を超えており、男女ともに「15～19歳」が最も短くなっています。（表24・図32）

表24 就業時間、年齢(5歳階級)別15歳以上就業者の割合及び平均週間就業時間(H17)

年齢(5歳階級)	総数 1)	35時間未満			35時間以上					平均週間 就業時間 (時間)
		総数	1～14 時間	15～34 時間	総数	35～39 時間	40～48 時間	49～59 時間	60時間 以上	
総数	100.0	21.7	6.1	15.6	76.4	6.3	41.8	15.9	12.4	42.0
15～19歳	100.0	70.5	32.9	37.7	27.9	4.2	16.8	4.0	2.9	24.0
20～24歳	100.0	28.9	9.6	19.3	69.6	6.3	41.9	12.4	9.0	38.9
25～29歳	100.0	11.5	2.4	9.1	86.8	6.2	48.9	18.1	13.5	45.3
30～34歳	100.0	12.3	3.1	9.2	85.5	5.9	45.5	19.0	15.2	45.5
35～39歳	100.0	15.2	4.4	10.8	83.0	5.5	41.2	19.9	16.4	45.1
40～44歳	100.0	19.3	5.2	14.0	79.5	5.6	39.9	19.0	15.0	43.5
45～49歳	100.0	21.9	5.4	16.5	77.0	6.0	40.9	17.3	12.8	42.2
50～54歳	100.0	22.9	5.5	17.5	75.6	6.8	43.3	14.9	10.6	41.1
55～59歳	100.0	23.3	5.8	17.6	75.0	7.6	45.1	12.9	9.4	40.5
60～64歳	100.0	35.6	9.0	26.6	61.7	7.6	36.3	9.6	8.2	37.1
65歳以上	100.0	45.6	15.6	30.0	48.8	6.9	27.4	7.5	6.9	33.1

1) 休業者及び就業時間「不詳」を含む。

図32 男女、年齢5歳階級別15歳以上就業者の平均週間就業時間(H17)



(3) 就業状態、従業上の地位、就業時間別就業者

- 「主に仕事」の平均週間就業時間は男女とも 40 時間超 -

就業状態別に就業時間をみると、「主に仕事」は「40～48 時間」(48.5%)の割合が最も高く、「家事のほか仕事」と「通学のかたわら仕事」は「15～34 時間」(それぞれ 54.7%と 48.9%)が最も高くなっています。「主に仕事」は 35 時間以上の割合が 88.4%となり、一方、「家事のほか仕事」は 35 時間未満の割合が 82.4%、同じく「通学のかたわら仕事」は 35 時間未満の割合が 94.3%となっています。男女別の平均週間就業時間は、「主に仕事」は男性が 47.5 時間、女性は 40.8 時間となり、男女ともに 40 時間を超えています。「家事のほか仕事」は男性が 21.0 時間、女性が 22.1 時間となり、女性が男性を 1.1 時間上回っており、「通学のかたわら仕事」男性が 17.4 時間、女性は 15.5 時間となり、男性が女性を 1.9 時間上回っています。

従業上の地位別に就業時間をみると、「雇用者(常雇)」、「役員」、「自営業主」は「40～48 時間」(それぞれ 47.3%、41.7%、30.0%)が最も高くなっており、「雇用者(臨時雇)」、「家族従業者」は「15～34 時間」(それぞれ 44.8%、26.6%)が最も高くなっています。「雇用者(臨時雇)」は 35 時間未満の割合(65.1%)が 35 時間以上の割合(32.9%)を上回っており、その他は全て 35 時間以上の割合が上回っています。男女別の平均週間就業時間は、全て男性が上回っており、「雇用者(臨時雇)」「(男性が 7.2 時間多い)を除いて全て男性が女性を 10 時間以上上回っています。(表 25・図 33)

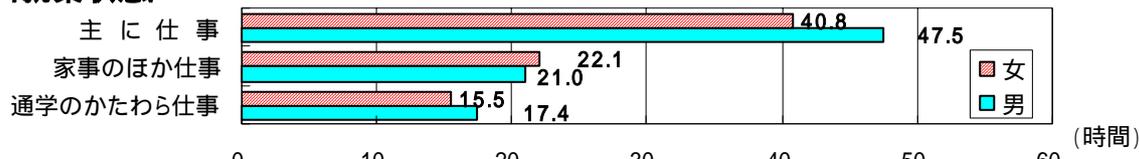
表 25 就業時間、就業状態、従業上の地位別 15 歳以上就業者の割合及び平均週間就業時間(H17)

就業状態 従業上の地位	総数 1)	35時間未満			35時間以上					平均週間 就業時間 (時間)
		総数	1～14 時間	15～34 時間	総数	35～39 時間	40～48 時間	49～59 時間	60時間 以上	
就業状態										
主に仕事	100.0	11.5	2.0	9.4	88.4	6.7	48.5	18.7	14.5	45.6
家事のほか仕事	100.0	82.4	27.7	54.7	17.5	5.4	8.7	2.1	1.4	22.0
通学のかたわら仕事	100.0	94.3	45.3	48.9	5.6	1.9	2.7	0.6	0.4	16.5
従業上の地位										
雇用者	100.0	20.9	5.5	15.4	77.3	6.4	43.3	16.1	11.5	42.0
うち常雇	100.0	13.6	3.0	10.6	84.6	6.2	47.3	18.1	13.0	44.5
うち臨時雇	100.0	65.1	20.3	44.8	32.9	8.1	19.0	3.8	2.1	26.8
役員	100.0	17.2	5.8	11.4	81.3	5.2	41.7	17.3	17.1	44.4
自営業主 2)	100.0	27.9	10.6	17.2	68.3	5.3	30.0	14.8	18.1	42.0
家族従業者	100.0	43.7	17.1	26.6	56.2	6.0	23.2	11.1	15.9	36.6

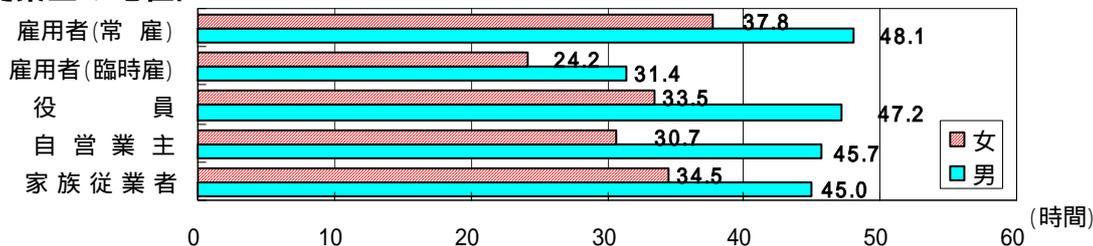
1) 休業者及び就業時間「不詳」を含む。 2) 「家庭内職者」を含む。

図 33 男女、就業状態、従業上の地位別 15 歳以上就業者の平均週間就業時間(H17)

(就業状態)



(従業上の地位)



(4) 産業、就業時間別就業者

- 男性は全ての産業で平均週間就業時間は40時間超 -

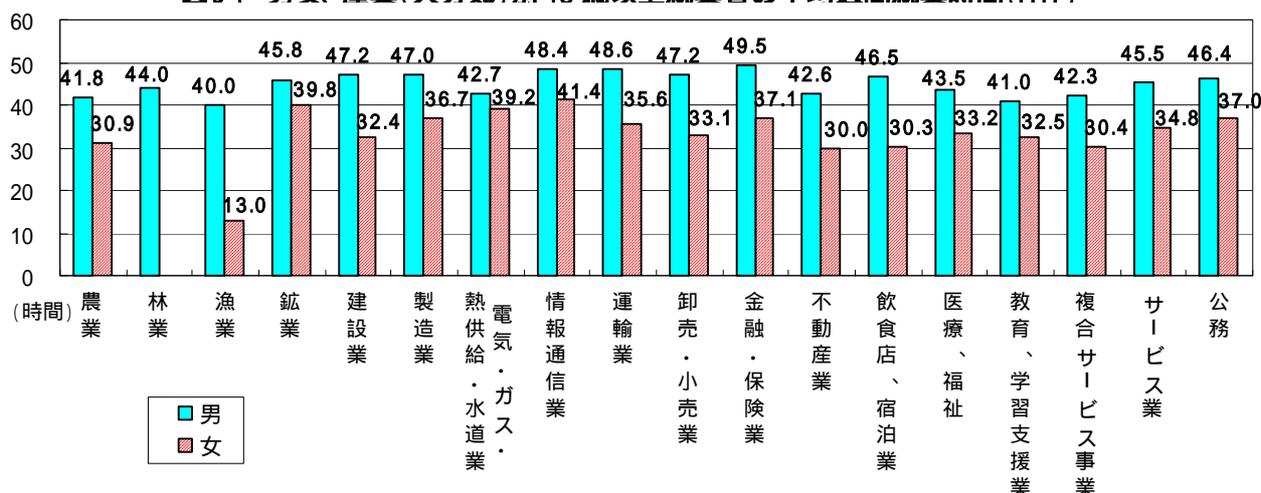
産業大分類別に就業時間をみると、少人数の産業を除いて35時間以上の割合が最も高いのは「情報通信業」(90.9%)で9割を超えています。一方、35時間未満の割合が最も高いのは「飲食店、宿泊業」(44.5%)となっています。また、全ての産業で35時間以上の割合が35時間未満の割合を上回っており、なかでも「運輸業」の「60時間以上」(20.0%)は2割を占めています。平均週間就業時間は、「情報通信業」(46.9時間)が最も長く、次いで「運輸業」(46.5時間)、「建設業」(45.2時間)となり、この3産業が45時間を超えています。男女別では、男性は「金融・保険業」(49.5時間)が最も長く、次いで「運輸業」(48.6時間)、「情報通信業」(48.4時間)と続き、全ての産業で40時間を超えています。女性は「情報通信業」(41.4時間)が最も長く、唯一40時間を超えています。(表26・図34)

表26 就業時間、産業(大分類)別15歳以上就業者の割合及び平均週間就業時間(H17) (%、時間)

産業(大分類)	総数 1)	35時間未満			35時間以上					平均週間 就業時間 (時間)
		総数	1~14 時間	15~34 時間	総数	35~39 時間	40~48 時間	49~59 時間	60時間 以上	
第1次産業	100.0	35.4	9.1	26.3	62.5	8.1	30.0	14.9	9.4	38.0
農業	100.0	35.4	9.1	26.3	62.4	8.1	30.0	15.0	9.4	38.1
林業	100.0	-	-	-	100.0	-	100.0	-	-	44.0
漁業	100.0	50.0	50.0	-	50.0	-	50.0	-	-	26.5
第2次産業	100.0	12.3	3.1	9.2	86.1	5.6	47.7	20.2	12.6	44.8
鉱業	100.0	6.0	-	6.0	92.5	9.0	56.7	19.4	7.5	44.6
建設業	100.0	13.9	4.0	9.8	83.9	4.0	48.2	17.6	14.1	45.2
製造業	100.0	11.3	2.5	8.8	87.4	6.5	47.4	21.8	11.7	44.5
第3次産業	100.0	25.5	7.2	18.3	73.0	6.9	37.0	15.9	13.2	41.0
電気・ガス・熱供給・水道業	100.0	9.9	1.0	8.9	88.6	12.9	56.1	14.7	5.0	42.3
情報通信業	100.0	7.4	1.6	5.9	90.9	5.6	43.8	25.8	15.8	46.9
運輸業	100.0	14.0	2.5	11.5	84.4	6.5	40.9	17.0	20.0	46.5
卸売・小売業	100.0	29.0	7.2	21.8	69.9	6.4	34.2	15.5	13.8	40.5
金融・保険業	100.0	15.2	2.7	12.6	83.3	7.8	40.3	20.2	15.1	43.8
不動産業	100.0	32.8	13.7	19.1	65.2	6.5	33.9	13.1	11.7	37.8
飲食店、宿泊業	100.0	44.5	13.0	31.5	54.3	5.1	20.7	10.5	18.0	37.7
医療、福祉	100.0	36.6	11.6	25.0	61.3	8.6	38.4	9.1	5.2	35.4
教育、学習支援業	100.0	34.8	16.9	18.0	63.3	5.0	35.5	13.9	9.0	36.1
複合サービス事業	100.0	30.6	3.8	26.8	67.8	7.1	44.0	11.5	5.2	37.7
サービス業(他に分類されないもの)	100.0	24.3	6.2	18.1	73.9	8.3	37.9	15.5	12.3	41.0
公務(他に分類されないもの)	100.0	14.1	3.3	10.8	83.9	7.6	47.9	15.3	13.1	43.8
分類不能の産業	100.0	10.2	3.8	6.4	83.5	1.8	74.2	4.1	3.4	43.9

1) 休業者及び就業時間「不詳」を含む。

図34 男女、産業(大分類)別15歳以上就業者の平均週間就業時間(H17)



(5) 区別の状況

- 平均週間就業時間は男女ともに中原区が最も長く、麻生区が最も短い -

区別に就業時間をみると、全ての区で「40～48時間」の割合が最も高くなっており、特に川崎区(44.9%)が最も高くなっています。35時間以上の割合が最も高いのは中原区(79.8%)で、男女ともに中原区(男性89.4%、女性64.1%)が最も高く、特に女性は最も低い麻生区(53.7%)とでは10.4ポイントの差となっています。一方、35時間未満の割合が最も高いのは麻生区(24.5%)となっています。

平均週間就業時間は、全ての区で40時間を超えており、最も長いのは中原区(43.1時間)で、次いで高津区(42.4時間)となり、この2区が全市(42.0時間)を上回っています。最も短いのは麻生区(40.9時間)で、最も長い中原区とは2.2時間の差となっています。男女別では、男女ともに20～30歳代の年齢の割合が高い中原区(男性47.2時間(単位未満の差)、女性36.3時間)が最も長くなっています。逆に最も短いのは、男女ともに麻生区(男性45.9時間、女性32.8時間)となっています。また、前回の調査と比べると、全ての区で減少しており、特に宮前区は1.4時間の減少となっています。(表27)

表27 区別、就業時間別15歳以上就業者の割合及び平均週間就業時間(H17)

(%、時間)

区別	総数 1)	35時間未満			35時間以上					平均週間就業時間(時間)	
		総数	1～14 時間	15～34 時間	総数	35～39 時間	40～48 時間	49～59 時間	60時間 以上	平成17年	平成12年
総数											
全市	100.0	21.7	6.1	15.6	76.4	6.3	41.8	15.9	12.4	42.0	42.9
川崎区	100.0	21.1	5.1	16.0	77.1	7.1	44.9	13.9	11.3	41.9	42.5
幸区	100.0	22.3	5.9	16.4	75.4	7.1	41.1	15.5	11.6	41.5	42.3
中原区	100.0	18.4	5.3	13.1	79.8	6.1	43.4	17.3	13.0	43.1	43.7
高津区	100.0	21.0	5.8	15.2	77.0	5.8	41.6	16.5	13.0	42.4	43.4
宮前区	100.0	22.8	6.6	16.2	75.5	5.8	40.2	16.3	13.1	41.9	43.3
多摩区	100.0	22.8	6.8	16.0	75.1	6.1	41.0	15.8	12.2	41.6	42.6
麻生区	100.0	24.5	7.6	17.0	73.4	6.1	39.6	15.9	11.8	40.9	41.9
男											
全市	100.0	10.7	3.0	7.8	87.6	4.4	45.5	20.6	17.1	46.6	47.3
川崎区	100.0	10.7	2.6	8.1	87.7	5.0	50.1	17.4	15.2	46.1	46.6
幸区	100.0	11.0	2.9	8.1	86.9	5.0	45.4	20.3	16.2	46.2	46.7
中原区	100.0	9.1	2.7	6.5	89.4	4.1	45.7	22.0	17.6	47.2	47.8
高津区	100.0	10.0	2.8	7.2	88.3	3.8	45.1	21.3	18.1	47.2	47.9
宮前区	100.0	10.4	2.9	7.5	88.1	4.1	44.1	21.3	18.6	47.1	48.3
多摩区	100.0	12.5	3.7	8.8	85.7	4.3	44.1	20.5	16.8	46.1	47.0
麻生区	100.0	12.4	3.6	8.8	85.9	4.6	43.5	21.1	16.7	45.9	46.7
女											
全市	100.0	39.4	11.2	28.3	58.3	9.4	35.8	8.4	4.7	34.5	35.2
川崎区	100.0	38.9	9.5	29.4	59.2	10.6	36.1	7.8	4.6	34.8	35.5
幸区	100.0	40.4	10.8	29.6	56.9	10.6	34.3	7.9	4.2	34.0	35.1
中原区	100.0	33.5	9.6	23.9	64.1	9.4	39.5	9.7	5.5	36.3	36.7
高津区	100.0	38.7	10.6	28.1	59.0	9.1	36.1	8.9	4.9	34.8	35.5
宮前区	100.0	43.1	12.7	30.4	54.8	8.7	33.9	8.1	4.1	33.3	34.2
多摩区	100.0	39.8	12.0	27.9	57.8	8.9	35.9	8.2	4.8	34.3	35.0
麻生区	100.0	43.9	13.9	30.0	53.7	8.6	33.4	7.7	4.0	32.8	33.5

1) 休業者及び就業時間「不詳」を含む。

(6) 大都市との比較

- 本市の 35 時間以上の就業時間の割合は大都市中最も高い -

大都市別に就業時間をみると、全ての都市で「40～48 時間」の割合が最も高くなっています。35 時間以上の割合が最も高いのは本市（76.4%）となり、全国（74.2%）を 2.2 ポイント上回っています。なお、男女別では、男性は本市（87.6%）が最も高く、女性は福岡市（59.3%）が最も高くなっています。一方、35 時間未満の割合が最も高いのは京都市（27.4%）となっています。平均週間就業時間は、全ての大都市で 40 時間を超えており、最も長いのは福岡市（42.2 時間）で、次に札幌市（42.1 時間）で、本市（42.0 時間）は 3 番目となり、全国（41.2 時間）を 0.8 時間上回っています。男女別では、男性は札幌市（47.4 時間）が最も長く、本市（46.6 時間）は大阪市と並んで 4 番目となり、全国（45.7 時間）を 0.9 時間上回っています。女性は福岡市（35.8 時間）が最も長く、本市（34.5 時間）は 7 番目となり、全国（34.9 時間）を 0.4 時間下回っています。（表 28・図 35）

表 28 大都市別、就業時間別 15 歳以上就業者の割合及び平均週間就業時間(H17)

大都市別	総数 1)	35時間未満			35時間以上					平均週間 就業時間 (時間)
		総数	1～14 時間	15～34 時間	総数	35～39 時間	40～48 時間	49～59 時間	60時間 以上	
全 国	100.0	23.9	5.7	18.2	74.2	6.1	42.2	14.6	11.3	41.2
札 幌 市	100.0	23.7	5.9	17.8	74.3	6.2	39.5	14.5	14.1	42.1
仙 台 市	100.0	23.6	5.9	17.7	74.8	5.9	41.5	14.9	12.5	41.6
さいたま市	100.0	24.5	6.4	18.1	73.3	6.4	39.5	15.3	12.1	41.0
千葉市	100.0	25.8	6.5	19.3	71.9	6.5	39.2	14.4	11.8	40.5
東京都区部	100.0	23.7	6.8	16.9	73.7	6.7	38.2	15.3	13.4	41.5
川 崎 市	100.0	21.7	6.1	15.6	76.4	6.3	41.8	15.9	12.4	42.0
横 浜 市	100.0	24.7	7.2	17.5	73.1	6.3	38.3	16.0	12.5	41.0
静 岡 市	100.0	24.9	5.7	19.2	73.5	6.2	42.0	14.2	11.1	41.0
名古屋市	100.0	25.5	6.8	18.6	73.0	6.3	38.9	15.2	12.6	41.0
京 都 市	100.0	27.4	8.0	19.4	70.0	6.3	36.4	14.4	12.9	40.6
大 阪 市	100.0	24.7	6.1	18.6	73.4	7.0	38.3	14.6	13.6	41.6
神 戸 市	100.0	26.4	7.0	19.4	71.5	6.4	38.7	14.5	12.0	40.5
広 島 市	100.0	25.0	6.4	18.6	73.1	5.4	40.2	14.9	12.6	41.3
北九州市	100.0	23.8	5.4	18.4	74.2	6.6	42.7	13.6	11.3	41.3
福 岡 市	100.0	23.9	6.1	17.9	73.7	6.2	37.9	15.0	14.5	42.2

1) 休業者及び就業時間「不詳」を含む。

図 35 大都市別、男女別 15 歳以上就業者の平均週間就業時間(H17)

